

## Tomorrow is another day.

先日、「ウチの子、ニッポンで元気ですか？」というテレビ番組をみました。

屋久島でガイドをされているアメリカ人女性。その日常生活やお仕事をしている様子を撮影して、母国にいる家族に伝えます。

一面に広がるこけのみずみずしい緑。風格を感じさせる杉。深い森はとても神秘的です。

彼女は自分の家族に“自分が最も美しいと感じる日の出を見せたい”と道なき道を進み、山小屋に宿泊します。体力気力ともにタフさが求められる撮影に臨むことにしました。

出発日、天気はあいにくの雨。屋久島は雨がとてもよく降るところなのでですね。

ところが雨足の強さは尋常ではなく、予想をはるかに超える雨量。足場はすべりやすく、過酷な状況になってしまいます。

スタッフがふと「こんなに頑張っても明日もこんな天候だったら日の出なんて撮れないよね」つぶやいたことでその場に動揺が走ります。

その時、ガイドの彼女が毅然とした態度で言いました。“Tomorrow is another day.”「明日は今日とは違う日」

彼女が言った通り、翌朝の日の出は涙が思わずこぼれるほどの美しい光景でした。

この場面をみていてある話を思い出しました。

「わたしたち大人はどれだけ新鮮な気持ちで新しい1日をむかえることができているでしょうか。

いつ明日がこない日をむかえることになるかわからないのに。

子どもたちは、違います。昨日できなかったことが今日はできるかもしれない。自分自身が成長できるから、昨日いじわるだったあの子も今日は優しいいい子になっているかもしれない、と本当に新鮮な眼差しをだれにでもむけられる。

間違っても子どもたちの友達関係に口を出してはいけない。大人の浅い考えが子どもをダメにしてしまう。」

娘が通っていた幼稚園。その保護者会で園長先生がしてくださったお話です。